



平成 18 年 12 月 14 日

## 平成 19 年 1 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

会 社 名 株式会社 クリムゾン ( JASDAQ ・ コード番号 : 2 7 7 6 )

( URL <http://www.crymson.co.jp> )

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 児 玉 俊 明 TEL : ( 03 ) 3548 - 1515

責任者役職・氏名 専務取締役 藤 田 潔

### 1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
税金費用の計算及びその他一部については、簡便的な方法を採用しております。  
最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
連結子会社（新規）1社、持分法適用会社（新規）1社

当社は、平成 18 年 8 月 25 日にパイオニアトレーディング株式会社の全株式を取得し、同社を完全子会社といたしました。前期より合併事業にて出資しております江蘇舜天夢島時装公司（物流加工業務委託先）の重要性が増し、当第 3 四半期より持分法を適用いたしました。

### 2 . 平成 19 年 1 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 2 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 1 月期第 3 四半期	11,164	( - )	320	( - )	336	( - )	293	( - )
18 年 1 月期第 3 四半期	-	( - )	-	( - )	-	( - )	-	( - )
(参考)18 年 1 月期	-		-		-		-	

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 1 月期第 3 四半期	11,858	50	-	-
18 年 1 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)18 年 1 月期	-	-	-	-

(注) 当第 3 四半期より四半期財務・業績（連結）の開示を実施しているため、対前年同四半期とその比較、前期実績については記載しておりません。

期中平均株式数：平成 19 年 1 月期第 3 四半期 24,714 株

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期会計期間におけるカジュアルウェア市場は、9月から10月にかけての温暖な気候の影響により、秋冬商品の立上りが遅れ、低調なものとなりました。

当社グループの従来からの主力である卸売事業においては、本年9月より「Bear USA」（ベアユーエスエー）を秋冬中心ブランドとして新規の販売を開始いたしましたが、他のブランドも含め販売先のプライベートブランド商品との差別化が不十分だったことと、期間を通して気候が温暖だったこともあり、売上高が見込んでいた金額に届きませんでした。小売事業においては、レディスカジュアルウェア「pour le mieux」（プーレミュー）及びアメリカンカジュアルウェア「Coral Point」（コーラルポイント）及びアウトレット店舗を展開しており、今秋冬よりMD力の強化を実施いたしました。しかしながら、商品と消費者のニーズを合致させることが出来ず売上高が見込んでいた金額に届きませんでした。

また、当四半期より新たにSPA事業の強化を目的として、レディスカジュアルウェア「Indio」ブランドの企画・小売販売を行っている、パイオニアトレーディング株式会社を株式譲渡により完全子会社としました。当第3四半期より連結しており、8月から10月までの売上高は、571百万円でありました。

これらの結果、売上高は11,164百万円、営業損失は320百万円、経常損失は336百万円、四半期純損失は293百万円となりました。

尚、当社は予てより決算期末（7月、1月）において、棚卸資産（商品）について一定の基準による評価減を行っております。本第3四半期会計期間における開示においては、棚卸資産（商品）の評価減は行っておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年1月期第3四半期	12,681	4,897	38.6	198,172	94
18年1月期第3四半期	-	-	-	-	-
(参考)18年1月期	-	-	-	-	-

(注) 当第3四半期より四半期財務・業績（連結）の開示を実施しているため、対前年同四半期とその比較、前期実績については記載しておりません。

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

(資産・負債・資本の変動状況)

当第3四半期会計期間末における資産は12,681百万円で、主に流動資産が8,508百万円、固定資産が4,161百万円でした。流動資産の主な内容としては、現金及び預金が2,607百万円、受取手形及び売掛金が3,133百万円でした。固定資産の主な内容は子会社取得により敷金・保証金が1,944百万円となりました。

負債は7,783百万円で、流動負債が5,415百万円、固定負債が2,368百万円でした。流動負債の主な内容は、支払手形及び買掛金が2,884百万円、有利子負債1,749百万円でした。固定負債の内容は主に長期借入金2,295百万円でした。純資産は、4,897百万円で、株主資本が4,894百万円、評価・換算差額等が2百万円となり、自己資本比率は38.6%となりました。

3. 平成 19 年 1 月期連結業績予想（平成 18 年 2 月 1 日～平成 19 年 1 月 31 日）

（百万円未満切捨）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	16,273	344	359

（参考）1 株当たり予想当期順損失 （通期）14,526 円 17 円

[ 連結業績予想に関する定性的情報等 ]

業績予想につきましては、平成 18 年 12 月 12 日付で発表いたしました業績予想に修正はありません。

当第 3 四半期までの業績の推移より通期を見通しますと、卸売事業においては売上高の減少により売上純利益の絶対額が減少することと、気候が比較的温暖だったこともあり、冬物商品の販売時期が後る倒しになり、セール時期での販売となったため、販売価格が想定したものより低くなると考えております。

小売事業においては、冬物商品販売の最盛期であり、セール時期でもあるのでダイレクトメール等の販売促進施策の実施により売上向上を図り、収益性の確保に努めます。

尚、当社のもつ事業等のリスクとしては、業績数値の予想公表値に対して、実際の実績数値の進捗とは、天候及び気温の状況による影響で乖離することがあることを申し添えます。

以 上

添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、 （要約）四半期連結損益計算書、  
四半期連結株主資本等変動計算書

## 〔添付資料〕

### 1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期
	(平成19年1月期第3四半期末)
	金 額
<b>(資産の部)</b>	
<b>流動資産</b>	
1.現金及び預金	2,607,706
2.受取手形及び売掛金	3,133,215
3.たな卸資産	2,004,261
4.その他	768,938
5.貸倒引当金	5,632
流動資産合計	8,508,488
<b>固定資産</b>	
(1)有形固定資産	
1.建物	796,691
2.その他	261,350
有形固定資産合計	1,058,041
(2)無形固定資産	670,787
(3)投資その他の資産	
1.敷金・保証金	1,944,507
2.その他	504,565
3.貸倒引当金	16,538
投資その他の資産合計	2,432,534
固定資産合計	4,161,363
<b>繰延資産</b>	11,721
資産合計	12,681,573
<b>(負債の部)</b>	
<b>流動負債</b>	
1.支払手形及び買掛金	2,884,579
2.短期借入金	395,674
3.一年以内返済予定長期借入金	1,353,911
4.未払金	604,332
5.引当金	19,544
6.その他	157,158
流動負債合計	5,415,201
<b>固定負債</b>	
1.長期借入金	2,295,703
2.その他	73,023
固定負債合計	2,368,726
負債合計	7,783,927

科 目	当四半期 (平成19年1月期第3四半期末)
<b>(純資産の部)</b>	
<b>株主資本</b>	
1.資本金	996,650
2.資本剰余金	1,262,690
3.利益剰余金	2,645,462
4.自己株式	9,995
株主資本合計	4,894,806
<b>評価・換算差額等</b>	
1.その他有価証券評価差額金	11,803
2.繰延ヘッジ損益	13,422
3.為替換算調整勘定	4,457
評価・換算差額等合計	2,839
純資産合計	4,897,645
負債及び純資産合計	12,681,573

(注) 記載金額は千円未満の端数を切捨てて表示しております。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年1月期第3四半期)
	金 額
売上高	11,164,271
売上原価	5,647,176
売上総利益	5,517,094
販売費及び一般管理費	5,837,833
営業損失	320,738
営業外収益	41,275
営業外費用	57,320
経常損失	336,783
特別利益	21,218
特別損失	100,581
税金等調整前四半期純損失	416,146
税金費用	123,075
四半期純損失	293,071

(注) 記載金額は千円未満の端数を切捨てて表示しております。

### 3. 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期会計期間（自平成18年2月1日至平成18年10月31日）

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年1月31日残高(千円)					
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			98,860		98,860
四半期純損失( )			293,071		293,071
自己株式の取得				9,995	9,995
新規連結財務諸表作成に伴う増加によるもの	996,650	1,262,690	3,037,393		5,296,733
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(千円)	996,650	1,262,690	2,645,462	9,995	4,894,806
平成18年10月31日残高(千円)	996,650	1,262,690	2,645,462	9,995	4,894,806

項目	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	評価・換算差 額等合計	
平成18年1月31日残高(千円)					
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					98,860
四半期純損失( )					293,071
自己株式の取得					9,995
新規連結財務諸表作成に伴う増加によるもの	25,756			25,756	5,322,490
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	13,952	13,422	4,457	22,917	22,917
当四半期中の変動額合計(千円)	13,952	13,422	4,457	22,917	403,174
平成18年10月31日残高(千円)	11,803	13,422	4,457	2,839	4,897,645